

JR 6社の大型観光キャンペーン

15年夏は「大分」

名所や食など魅力発信

JRグループ6社が総力を挙げる日本最大の観光宣伝「デスティネーションキャンペーン」が2015年夏、大分県を対象に展開されることが決まった。「おんせん県」をはじめ、新大分駅ビルや県立美術館の誕生で生まれ変わる県都・大分市の中心市街地など、豊の国の魅力を全国に発信できる絶好のチャンス。最大限に生かすためには、もてなす側の地元の機運盛り上げが鍵となる。



キャンペーンは大分県の魅力をPRする絶好の機会となる(コラージュ)

JRグループ6社が総力を挙げる日本最大の観光宣伝「デスティネーションキャンペーン」が2015年夏、大分県を対象に展開されることが決まりました。

①全国にアピールしたい大分県内の名所、食など観光資源を挙げてみよう。

.....

.....

.....

.....

②いろいろな世代が楽しめる、旅行プランを考えてみよう。

.....

.....

.....

.....

③大分県のイメージポスターを考えてみよう。行きたくなるポスターにするためには、どんなデザインがいいだろう。

.....

.....

.....

.....

キャンペーンは、旅行の目的地(デスティネーション)の観光浮揚を狙い、旧国鉄時代の1978年から開催。現在は北海道から九州までJR6社の持ち回りで原則として年に4回、地域の自治体や観光関係者と協力して実施している。「大分」は2015年7月～9月の3カ月間。JR九州が15年春の大分駅ビル開業に合わせて誘致した。期間中はJR各社、全国の旅行代理店が大分関連の商品を充実させ、「お薦め」として販売に力を入れる。地元の自治体や観光関係者は14年度から受け入れ準備を進める。夏にJR各社や旅行代理店を集めた全国会議を開催。県内各地にある名所や食など観光資源を

紹介し、旅行プランづくりに反映させてもらう。キャンペーンが大都市圏の駅や旅行代理店の店舗に向いてアピールする。15年度はガイドブックを作るほか、大分県のイメージポスター(五連貼り)を全国の主要駅1370カ所に設置。県外の新聞、雑誌、テレビなどを活用して大々的に宣伝活動をする。キャンペーンは「JR各社がこぞって力を入れ、大変な集客効果を発揮する」(唐池恒二JR九州社長)という。その効果を「過性で終わらせないためには、来県客に「また大分を訪れたい」と感じてもらうことが重要。広瀬勝貞知事は「全国からの観光客に大分県の魅力を満喫してもらえよう、官民一体で準備に取り組む」としている。

(2013年4月19日朝刊1面)